

EyeLiVE

見たものが反応したり、人の興味・関心が分かると「人を思いやるサービス」に変わる

視線モニタリング「EyeLiVE」は、人の動きに追従して視線を検知する業界初の視線検出システム※¹です。
使い方はとても簡単！最初に「目視対象」と「視線検出領域※²」を決めたら、操作ガイドにしたがってセットアップするだけ。取り付けた瞬間から人の視線を知ることができます。

※¹ 視線検出システムの基盤技術は富士通株式会社に帰属します。
※² 人が見ている場所を特定するために設ける領域（実空間上の平面）のことです。
（例：モニター画面、棚（ショーケース）、壁、窓、鏡など）



視線モニタリング「EyeLiVE」の2つの用途

楽しんでもらう

見たモノにすぐに反応するような用途に最適です。

例えば、インタラクティブなデジタルサイネージやゲームなどのユーザーインタフェースに活用できます。



【素材提供】
沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム

2way

操作
Control

分析
Analyze

メモリ出力/CSVファイル出力

時刻、座標、性別、年齢

視線情報

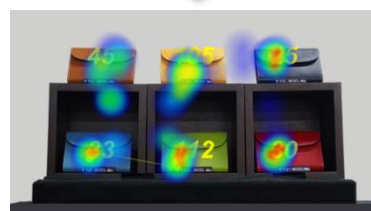
素材情報

商品情報

興味・関心を知る

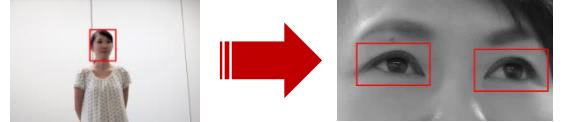
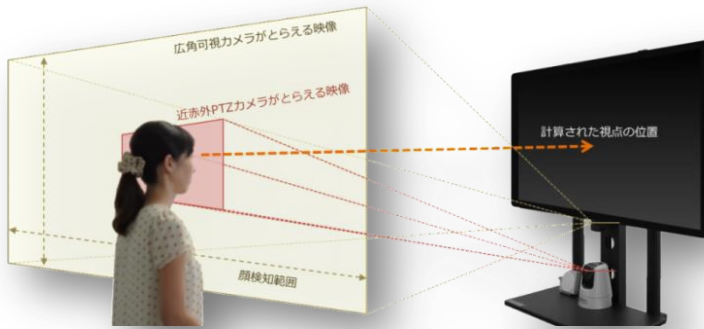
見たモノの情報を把握するような用途に最適です。

例えば、商品やWebコンテンツのデザイン設計、お客さまの興味・関心調査などに活用できます。



業界初、2カメラ連動による「人に寄り添う視線検出システム」

●自然な人の動きにこだわったメカニズム

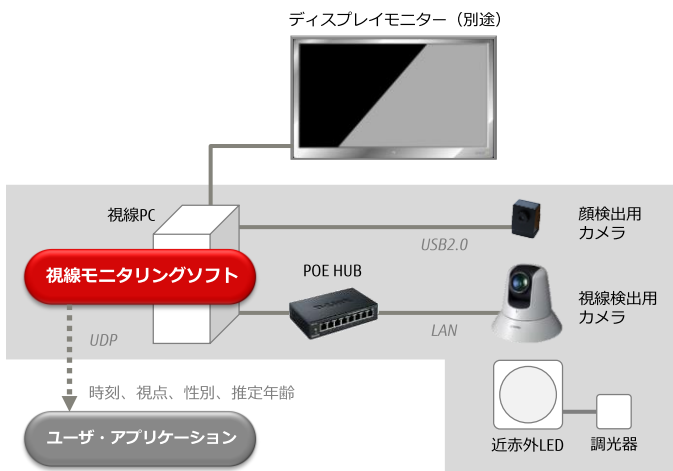


【左】 広角可視カメラの映像から顔を検出
↓顔位置から目の位置を特定
↓近赤外カメラの向きとズームを制御
【右】 近赤外カメラの映像から視線を検出

●主な特長

- 2台のカメラで人に追従 ⇒ 人が動いても人に追従して視線を検出します
- 非接触タイプの視線検出 ⇒ 装置などをつける必要がないので衛生的です
- 光学ズームで視線を検出 ⇒ 手の届かない距離にいても視線を検出します
- 目視対象を自由に設定可 ⇒ 画面や棚、壁、窓ガラスにも設定が可能です
- 見るという動きをUIに ⇒ 見るだけで反応するアプリが簡単に作れます
- 視線情報を蓄積・可視化 ⇒ 視線情報から人の興味・関心が読み取れます

●システム構成



●システム要件

項目	内容
● 視線モニタリングソフト	視線検出ソフトウェア (本体)
● 視線PC	※別途ご用意ください
OS	Windows 7 / 8.1 / 10
CPU	インテル® Core™ i7 相当【推奨】
Memory	4GB 以上【推奨】
HDD	空き領域：100GB 以上【推奨】
● 顔検出用カメラ	市販品) 映像：VGA (顔検出組込型)
● 視線検出用カメラ	市販品) 映像：Full-HD (PTZ機能付)
● PoE対応HUB	視線PCと視線カメラ接続用
● 近赤外LED	リング型【最大5m照射タイプ推奨】
● 調光器	近赤外LED用
● ディスプレイモニター	※別途ご用意ください (使用する場合)

※ Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
※ その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

【お問い合わせ窓口】

株式会社富士通ビー・エス・シー

〒135-8300 東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場

ビジネス支援室 営業支援部

TEL : 03-3570-4771 (営業時間：平日 9:00 ~ 17:00)

※メールでのお問い合わせ bsc-shisen@cs.jp.fujitsu.com